

学童クラブは区直営で時間延長を
間委託化が打ち出されました。すでに
計画素案では、学童クラブの全所民
間委託化が打ち出されました。すでに

計画素案では、崖・擁壁の改修工事費
助成が4年間でわざか15件であり、川
村議員は「もっと増やすべき」と要求。
区長は、「助成申請が目標を超えるよ
うな場合は計画を見直す」と答弁。

また、小中学校で導入されている保
護者への「メール配信システム」を保育
園・幼稚園・子ども園にも導入すること
を求めましたが、区長は「(保育園・子
ども園について)考えていない」、教育
委員会は「幼稚園と小中学校はシステ
ム環境が違うのが課題。必要性や手法
を検討する」と答弁しました。

子ども園に株式会社が参入?!

子ども園の問題点として、既存施設
の活用で定数を増やすとするところを詰め
込みで保育環境が後退する、柏木子ども
園は遊戯室がなくなると指摘、区長
は、「1人あたりの面積は減るが、基準
面積よりは上回る、体育館等の利用を
学校と協議する」と答弁。

区は今後子ども園化と民営化を同
時に進める方針です。「利潤追求を目
的とした株式会社を参入させるべきで
はない」と質しましたが、区長は、「社
会福祉法人、学校法人、株式会社から
公募する」と表明しました。

清風園の存続を

計画素案では、清風園の老朽化が進
み維持管理の負担がかかるためあり方
を検討する、と廃止ともれる方向を
示しています。落合地域では西落合こ
どぶき館がなくなつたうえ清風園も廢
止されたら困るという声が広がっています。清風園の存続を求める質問に対

防災対策について

計画素案では、崖・擁壁の改修工事費
助成が4年間でわざか15件であり、川
村議員は「もっと増やすべき」と要求。
区長は、「助成申請が目標を超えるよ
うな場合は計画を見直す」と答弁。

また、小中学校で導入されている保
護者への「メール配信システム」を保育
園・幼稚園・子ども園にも導入すること
を求めましたが、区長は「(保育園・子
ども園について)考えていない」、教育
委員会は「幼稚園と小中学校はシステ
ム環境が違うのが課題。必要性や手法
を検討する」と答弁しました。

計画素案では、2013年度から学
校図書館司書を2校に1人、全小中学
校に配置することが盛り込まれまし
た。川村議員は、来年度からの実施と1
校1人の配置を求めましたが、教育委
員会は、「人材確保等に一定期間を要
するため再来年度から実施、現行の図
書館スタッフと連携する」と答弁。

調べ学習の支援のために全学校図書
館に新聞を置くこと(現在小学校3
校、中学校4校)を求めたところ、教育
委員会は「今年度から新聞販売協同組
合の協力を得て希望する学校に提供し
ている、今後もこの取り組みを進め
る」と答弁しました。

計画素案では、2013年度から学
校図書館司書を2校に1人、全小中学
校に配置することが盛り込まれまし
た。川村議員は、来年度からの実施と1
校1人の配置を求めましたが、教育委
員会は、「人材確保等に一定期間を要
するため再来年度から実施、現行の図
書館スタッフと連携する」と答弁。

高齢者・低所得者の 住宅確保について

丁目の火災を教訓に、住宅施策の充実
を求めました。

老朽アパート改善工事費の助成を求
めたのに對し、区長は、「実施の考えは
ない」と答弁。また、保証人のいない高
齢者等に保証会社をあつせんし保証料
を助成する制度の改善を求める、区長
は、「①来年度から助成の対象年齢を
引き下げる」と検討、②生活保護世
帯にも同様の支援があることを区ホー
ムページやポスターで周知、③「あんじ
ん居住制度」の「見守りサービス」利用
者への一部助成

を来年度実施
に向け検討中
と、前向きの答
弁がありました

し、区長は「地
域の高齢者施
策に對する需
要を踏まえた
がら今後のあ
り方を検討」と
逃げの答弁を
しており今後
注視が必要で
す。



▲清風園入口

今定例会は、新宿区第二次実行計画素案(以下「計画素案」)が10月に発表され、
そこに示された今後4年間の方針について主に質問を行いました。

新宿区議会第4回定例会報告 11月30日～12月9日

川村のりあき議員 代表質問



雨宮たけひこ議員 がん検診の受診率 向上のために



一般質問

問● 福祉健康委員会で視察した酒田市では、家族全員の検診状況を調査する申込書を郵送し、未受診者には保健師が戸別訪問して受診率を向上させたが、新宿でもやるべき。

答● 実態調査は重要と考え、今年度は社会保険加入者に受診歴を記入する返信アンケート付きはがきを出した。個別訪問は効率的ないと考える。注視が必要で個別訪問は効率的ないと考える。

問● 酒田市は、働きざかりの年代の方に、胃・大腸がんの無料クーポン券を配布し受診者が増えた。区も無料クーポンの対象を拡大せよ。

答● 乳がん・子宮がん・大腸がんは来年度も無料クーポンを配布するが、対象の拡大はしない。

近藤なつ子議員 交通対策について



問● 「新宿区地域公共交通会議」で、移動困難者対策や関東バス百人町路線についても協議すべき。

答● 今後協議すべき項目について検討する。

問● 自転車レーン整備をすすめよ。

答● 必要性は認識している。新規整備の際、国や都に区内の声を聴く場を設けるよう要望する。今後、区道2路線

でモーテル整備する。

問● 歩車分離式の信号を増やすべき。
答● 区内41箇所に設置しているが、さらに必要な箇所を警察に要望する。

問● 自転車走行用に信号機を改善すべき。
答● 自転車利用者にわかりやすい信号もあると思うので、警察と協議する。

各議員は、定例の法律くらしの相談会を行っています。お気軽にお問合せください。



雨宮たけひこ

左門町12 ライジングプラザ5A
電話 090-1544-5088



沢田 あゆみ

西早稲田2-19-1共美ビル101
電話 090-3088-9591



あざみ 民栄

市谷加賀町2-6-1 D-302
電話 090-1802-4520



川村のりあき

西落合1-32-18
電話 090-9330-9004



佐藤 佳一

北新宿1-6-16-602
電話 090-2641-8431



あべ 早苗

新宿7-16-13
電話 090-4015-8151



近藤 なつ子

戸山1-16-16-310
電話 090-4849-3227



田中のりひで

上落合1-1-15-302
電話 080-5483-5516

区内にもミニホットスポット 独自に放射線量を測定しました

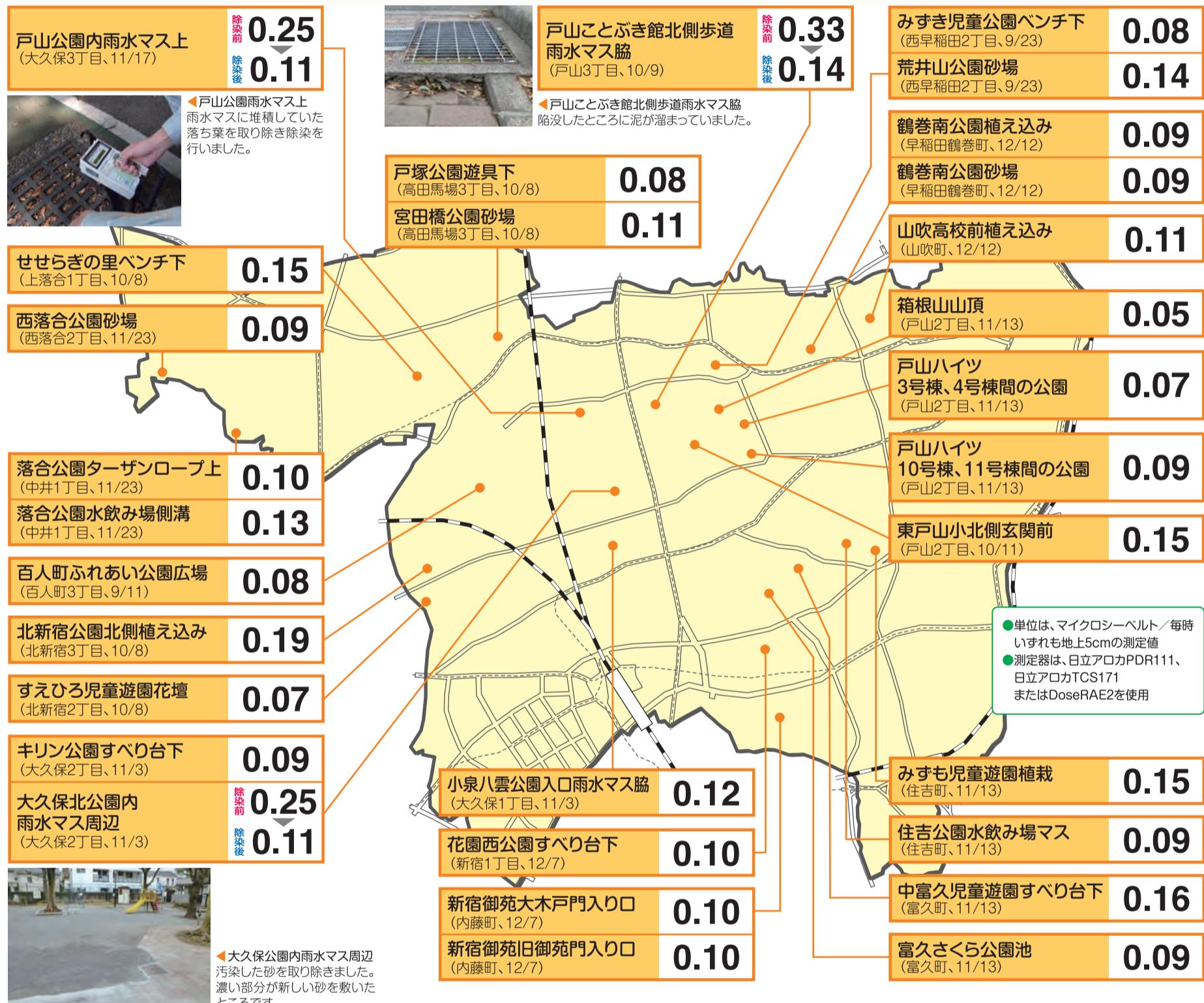


日本共産党区議団は、地域のみなさんとともに、区内で独自に放射線量を測定しました。その一部を紹介します。

測定の結果、広い範囲で高濃度に汚染されている箇所はありませんでしたが、雨水マスの目詰まりやマス周囲の陥没などで、雨水に運ばれてきた土砂が下水流入できず地上に残ったような所で局所的に高い数値を示しました。

高い数値のところは除染しました

測定した中で、除染基準の年間1ミリシーベルト（毎時0.23マイクロシーベルト）を超えた場所が数カ所見つかりました。新宿区に連絡し、砂を入れ換えて雨水マスを清掃するなどの除染をしたところ、いずれも数値は基準以下になりました（下図参照）。



今後の新宿区の対応（川村議員の代表質問への答弁）

● 高濃度が予想される場所を測定

福島県内の玄米から国の基準を超えるセシウムが検出され、赤ちゃん用粉ミルクからもセシウムが出て、放射能への不安がひろがっています。川村議員の代表質問に対し、区長は、これまで測定した中では高い数値は出ていないが、学校・保育園等で、雨どい下など高い放射線量が想定される場所をさらに測定し公表すると答弁。また、区はこの間、年間1ミリシーベルト（毎時0.23マイクロシーベルト）を超えた場所で除染等を行っています。

● 放射線測定器の貸し出し台数を増やす

9月1日から2台貸出している測定器は、希望が殺到したため11月から3台にしました。川村議員のもっと増やすべきとの質問に、区長は台数をさらに増やし、より多くの方に利用してもらえるよう充実すると答えました（1月から4台になります）。

なお、食材の測定は、消費者庁から測定器の貸与を受けて行う方針でしたが、同庁の一次・二次募集とも不採用で、三次に応募すること。区が購入すべきとの質問には引き続き背を向けています。

区民の声を反映する区政をめざして、日本共産党 新宿区議団はがんばります！

ホームページ●<http://www.jcp-shinjuku.com>
各区議のホームページやEメールも区議団のホームページからリンクできます。



あなたの声をなんでもお寄せ下さい。
新宿ボイス 検索
<http://jcp-voice.jp/tokyo/shinjuku/>

